

# カキ生育情報

千葉県  
平成22年10月号

## 【9月の気象】

平均気温は平年に比べ、第6半旬は0.7 低かったが、第1～第5半旬は0.7～3.1 高く推移した。月平均気温は24.6 で平年より1.5 高かった。最高気温、最低気温とも平均気温の推移と同様に推移し、月平均では最高気温は28.8 、最低気温は21.1 で、平年に比べそれぞれ1.6 、1.5 高かった。

降水量は平年に比べ、第1半旬では降雨がなく、第3、第4半旬は少なく、第2、第5、第6半旬で多かった。特に第6半旬では154 mmと多く、平年の3.6倍もの降水量であった。月合計は268mmで、平年に比べ24% (52 mm) 多かった。

日照時間は平年に比べ、第6半旬では少なかったが、他の5半旬では多く推移した。月合計は198時間で、平年に比べ36% (52時間) 多かった。

なお、8月の気象データは館山測候所の観測値を引用した。

表1 平成22年9月の気象(館山測候所)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量 mm		日照時間 hr	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	28.2	25.1	33.3	29.3	24.4	21.7	0	27	52	31
	2	26.4	24.5	30.2	28.6	23.1	21.0	35	32	29	28
9	3	26.6	23.7	30.5	27.7	23.7	20.2	2	35	40	25
月	4	23.8	22.7	28.1	26.7	20.1	19.3	27	38	35	22
	5	22.4	21.7	26.9	25.7	18.8	18.3	52	41	31	20
	6	20.2	20.9	23.8	24.9	16.5	17.2	154	43	11	20
合計/平均		24.6	23.1	28.8	27.2	21.1	19.6	268	216	198	146

## 【樹及び果実の生育】

暖地園芸研究所では、西村早生の収穫が9月22日に始まった。平年に比べ数日遅れているが、収穫の進みが早く一気に収穫が終了する気配である。果実の日焼けが例年より多く、スジ果及びへたすきの発生がわずかにみられるが、病害虫の発生はほとんどない。松本早生富有では果実の大きさはほぼ平年並になっているが、着色は遅れている。富有は平年より小さく生育が遅れており、着色は始まっていない。いずれの品種も、収穫期は平年より1週間程度遅くなると予想される。病害虫では、炭疽病の発生がやや多く、特に松本早生富有では目立っている。

いすみ市の西村早生では、昨年とほぼ同じ大きさに果実が生育している。また目立った病害の発生はなく、汚損果の発生も少ない。

市原市の松本早生富有では、果実の大きさは昨年よりやや小さくなっている。病害虫では、カキノヘタムシガの発生が1割程度みられる。

表2 果実の発育(平成22年9月30日)

品種	調査地	横径 cm			縦径 cm			果形指数 <sup>1)</sup>		
		本年	前年	平年 <sup>2)</sup>	本年	前年	平年	本年	前年	平年
西村早生	いすみ市	7.6	7.7	-	5.3	5.4	-	1.43	1.43	-
	暖地園研	7.9	7.9	7.7	5.3	5.7	5.5	1.41	1.40	1.40
松本早生 富有	市原市	6.5	6.9	-	4.4	4.6	-	1.48	1.50	-
	暖地園研	6.9	6.9	7.3	5.1	5.2	5.3	1.35	1.34	1.38
富有	暖地園研	6.3	7.0	7.1	5.1	5.5	5.4	1.24	1.27	1.32

注 1) 果形指数 = 横径 / 縦径 .

2) 平年値は暖地園芸研究所における平成2年から20年間の平均値 .

3) いすみ市における西村早生の数値は9月に収穫した果実データ .

## 【9～10月の作業の要点】

### 収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認するとよい。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調整作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

### 追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。松本早生富有、次郎、富有などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の分量で、10a 当たり 2～3 kg が適当である。

### 病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降（休眠期）でよい。

これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

### 《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産者向け情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>